



学校だより

令和2年11月30日

12月号

めざす子ども像
ともに学び、よりよい生き方を見つけ出すしろさとっ子

横浜市立城郷小学校

新しい生活様式と学校行事

校長 巴 幹晴

明日から『師走(しわす)』。早いもので令和2年もあとひと月。各学年も3分の2を終えます。

11月9日には、本校の120歳の誕生日を祝い、「創立120周年記念式」を体育館ステージからのテレビ放送を通じて全校児童で行いました。私からは、60年前の地域の航空写真と現在の航空写真を比べながら、長きにわたってまちの歴史とともにある学校であることを伝え、これからも学校を支えてきた方々に感謝しながら大切にしていきたいことを呼びかけました。また、各学年から事前に収録された誕生日を祝うメッセージや歌が披露されたり、児童運営委員会による「城郷小学校に関わるクイズ」に全校で答えたりして、120歳のお祝いをしました。その時に披露された全校児童のお祝いメッセージボードは、今年度いっぱい、職員玄関の壁面に飾ってあります。個人面談や懇談会などの際にご覧ください。

また、11月は、各学年の遠足や校外学習と6年生の日帰り修学旅行を行いました。

1年生は新横浜駅前公園で、2～4年生は新横浜公園で、5年生は岸根公園で、発達段階に応じて、集団での道路の歩き方や公共の場でのマナーを守ると同時に、学年・学級でのレクリエーションや秋を迎えた動植物にふれる機会を楽しみました。上の学年になるにつれて、学年レク等の運営に対して児童がとても主体的に取り組み、実行委員を中心に充実した学びが得られました。

6年生の修学旅行では、小机城址の保存に関わられている「しろまち会」の方と小机城の歴史の一部を分かりやすいドラマにまとめられた方のご協力を得て、小机城と見学地「小田原城」の関係を事前に学んでから当日を迎えることができました。小田原城をより身近な城として感じながら見学できたようです。(天守から見えた小田原駅は、東海道新幹線に乗れば新横浜駅が隣の駅ですので、鉄道の上でも近い存在ですが。)天候に恵まれ、暖かな日差しを浴びながら、見晴らし台から芦ノ湖と富士山を臨みつつ、眼下の狭い街道を守る箱根関所を見る機会ももつことができました。

どの学年でも、学習活動(楽しむ活動も含めて)の場面とマナーやコロナ対応を守る場面をわきまえて行動する姿が見られました。レクのゲームや歌、ダンス、ウォークラリーなどでは思い切り身体を動かしたり、活動を楽しんだりする一方で、活動の切り替えやトイレ休憩の際には石けんをしっかりとこまめに手を洗ったり、お弁当を食べる学年では、マスクをはずしたら会話を控え、静かに食べたりしていました。

子どもたちの姿に、あらためて「新型コロナウイルス感染症拡大防止のために、様々な制約を受け、できなくなったことがたくさんあるけれど、悲しんでばかりいないで、安全・安心を心がけながらできることを精一杯する」ということの大切さについて考えさせられました。

今月も本校教育活動に、地域・ご家庭でのご理解ご協力をお願いいたします。

いちよぼん



たむぼん

しろさとげろいちにいぜろ
城郷0120